

小中学校等保護者団体役員・学校運営協議会委員合同意見交換会の概要

No.	中学校区	発言者	質問・意見	回答
1	一中	A	実施計画（案）P 7の「子どもたちにとって望ましい学習環境」とは基本的にどのようなことを指しているのか。また、現状は望ましい環境ではないということか。	少人数学級でもきめ細やかな教育ができるなど教育面の良さはある。実施計画（案）の基本的な考え方としては、子どもだけでなく、施設や教職員等の環境など、総合的な環境として捉えている。少人数学級が悪いということではないので、誤解の無いようにお願いしたい。
2	一中	B	実施計画（案）において、「地域」という言葉がたくさん出てくる。「地域」とはどの範囲を考えているのか。また、「コミュニティ」の範囲もどのように捉えているのか。 例えば、豊川地区でいえば、「旧豊川村」として役場、議会、消防団、各種団体などが地域で組織され、機能してきた。そのように地域と共にある豊川小学校として歩んできた。統廃合によってこれまでの地域コミュニティがバラバラとなることを年配の方は不安視していると思う。庁内検討委員会においては、地域の在り方をどのように検討し、地域に伝えているのか。 適正規模の考えに合わせて行政組織を見直ししていく考えはあるのか。	「地域」といっても様々な捉え方があると思うが、子どもたちを取り巻く地域や学区といった狭い意味での地域もあれば、大きな目で見ると隣接している学区、市全体を捉えるなど、考慮すべきケースによって範囲は異なるものと考えている。実施計画（案）は、そのような様々な視点をもって適宜考えていく必要がある。また、「コミュニティ」についても地域の中での組織として、時と場合によって異なるものと考えている。 庁内検討委員会は市の内部組織として、それぞれの所属の立場から意見をいただき、多角的に検討している。地域を大切にしながら、子どもたちの教育環境を良くするに、どのようにすればよいかを命題としている。これからも庁内検討委員会で検討を行いながら、地域の皆様の考えをいただき、焦らずに進めていきたい。 基本的には行政区、町等の見直し等は考えていない。地域コミュニティはこれまでどおり生かしていきたいと考えている。例えば、学校は別に移ったとしても、児童クラブはその地域にあるようにするなど、様々な検討は考えられる。そのように地域のコミュニティをなくさずに大事にしていきたいと考えている。
3	一中	C	小中一貫校は具体的にどの程度進んでいるのか。 何年も検討しているようだが、結果的にはいつ具体化されるのか。	資料1のP18に小中一貫校に関して記載しているが、小中一貫校をつくる、つくらないについても、地域の皆様と話し合いを通して進めたいと考えている。現時点では具体的なところまでは至っていない。 早急にできるものではなく、地域の皆様の意見等をいただきながら焦らずに進めていきたいと考えている。
4	一中	D	綿密な資料ありがとうございます。個人的には少子化の影響による統廃合は避けては通れないものと総論では感じているが、明治6年に制度化され150年の歴史、伝統がある小学校が地域からなくなると、さらに過疎化が進むと思う。そこで次の2点について伺いたい。 ①小規模特認校をさらに増やすことがあるのか。 ②これまで出された地域の意見等について、現在、どの程度まで反映する方向で検討しているのか市の考えについて伺いたい。なお、形式的に意見を聞いただけで進めることはないようにしていただきたい。	①（上三宮小学校の経緯について説明。）他地区への導入については、児童の奪い合い等もあり考えていない。 ②現時点の市の考えは配付資料のとおり。実施計画はあくまで案であり、決定されたものではない。必要なは皆様のご意見であり、しっかりと話し合い、ご理解をいただきながら進めていきたい。

No.	中学校区	発言者	質問・意見	回答
5	一中	E	①資料1のP7「通学時間…通学手段に関わらず、小中学校とも概ね60分まで」となっているが、徒歩で考えると往復2時間になるがいかがか。 ②当事者である子どもたちの意見が反映されているのか。子どもたちの意見を聞くことも大事と考えている。	①通学時間の「概ね60分」は文部科学省の手引きを参考にしている。本市の場合は、積雪、熊、高低差などが考えられる。少しでも児童生徒の負担を軽減できるように検討していきたい。 ②子どもの意見については、審議会において社会学の専門的な立場からの意見として、「子どもたちからの適切な判断は難しいものである」とされている。望ましい教育環境等については保護者が判断されるのが適切である。今後も地域、保護者のご意見を重視しながら進めていきたい。
6	一中	F	①資料2の各地域の意見抜粋に「過疎化が進行し、地域が衰退する」との意見がどこの地域からも出ている。地域というよりも市全体が過疎化になっていると思う。そこで「子育てしやすい喜多方市」についても検討していただきたい。 ②児童生徒数が少ない学校は先生が手薄になり負担が増えると思う。そのような中においても障がいのある子どもたちの学びの保障を検討していただきたい。 ③子どもからの意見について、子どもの心のケアなど、不安解消のための取組をお願いしたい。	①子どもたちにとってより良い学習環境の整備や子育てしやすいまちづくりなど、関係課と連携して進めてまいりたい。 ②障がいを持つ児童のケアについては、特別支援学級は原則4名いないとつけれない。学校がまとまることによって特別支援学級ができれば専門的な指導も可能となると考える。 ③子どもたちの心のケアについて、統合する際だけでなく、統合後のケアについても検討していきたい。
7	一中	G	①第二小学校と慶徳小学校の統合となっているが、まず豊川小学校と慶徳小学校の統合は考えなかったのか。 ②子どもたちへのアンケートについて、小学生に近い感覚を持っていて、学習や友達関係を築いている中・高校生くらいのアンケートはいかがか。	①豊川小学校と慶徳小学校の統合のデメリットとしては、いずれまた合併しなければならないことが考えられる。そうすると2度統合を経験することになり、児童、保護者の負担が大きくなると考える。今後、ご意見として皆様の考えを聞きながら進めたい。 ②中・高生に対するアンケートは参考となるかどうかを考えると難しいものとする。
8	一中	C	小学校6年生の子どもがいるが、慶徳幼稚園は1年で閉園し、豊川幼稚園に移りまた1年で閉園した。はじめから第二こども園にしてくれれば良いのと思った。まとめることができるのであれば最初からまとめた方がよいと思う。私は中学校で非常勤講師をやっているが、特別支援学級は大変である。できる子、できない子の差があること、専門ではない教科を教えること、数学、理科等の専門の先生の負担が増えることなど。文科省、県で配属人数が決まっていると思うが、そこを何とかできないのか。もしくは市で補助できないのか。 小学校同士（他校と）の交流は行っているのか。子どもたちははじめて見る施設で驚きや発見があると思う。	非常勤職員を含め特別支援学級において人的支援を行うことは非常に重要と思う。教員不足は本市だけではない。これから先も不安があるが、しっかりと県への要望等をしていきたい。 活発には行われていない状況である。今後、どのようにすれば交流が進められるのか検討したい。限られた時間の中で目標をしっかりと持って進めることが重要と考える。

No.	中学校区	発言者	質問・意見	回答
9	一中	B	個人的には反対。豊川小学校は「状況に応じて統合」とされているのが引っ掛かっている。統合によって「新たな学校」をつくるということだが、後から統合した場合、再度校歌やルール等をつくり直すのか。現実的ではないと思う。 豊川小学校区の太郎丸、高吉二区、堂畑地区の児童は豊川小学校ではなく、他校に通っている子が多い。また、豊川町太田地区は塩川町姥堂小学校が近く、半分くらいは姥堂小学校に通っている。このため令和7年の77人という数字はあり得ないと思う。豊川小学校も近いうち複式学級になるのではと考えている。 また、上三宮小学校も令和4年は15名だが、令和10年に26名となっている。上三宮小学校に住んでいながら別の学校に通っている子が多い。そのような状況の中で「状況に応じて」というのは理解ができない。 先に統合した学校のルールに乗っかって統合するということは、教育委員会と交渉できる余地がないと思うため反対である。 豊川地区は第二小学校まで4km圏内であり、低学年なら歩いて60分程度かかると思う。小学校1年生が4kmは大変だと思う。豊川地区は歩きなのかなと考えると、統合・残すどちらにとっても厳しい。私の子どもには、この条件で第二小学校に通わせたいとは思わない。 交渉する余地がないところに残るよりは、交渉できる段階で混ざることが良いのではないかとも思う。 市では、いろんな意見を吸い上げて、「これで決めます」となったときに、豊川町の誰と合意をするのか。統合の時はいまのPTAは誰もいないと思う。	どのように決定されるかは重要である。最終的な決定については、審議会で審議しながら、皆様にお示ししながら進めてまいりたい。
10	一中	B	審議会には行政区長が入っているが、審議会での話をPTAや地域におろしてくださいという事は言っているのか。 豊川町でも行政区長に審議会ではこのように話して欲しいとの意見は伝えていない。審議会の議事録は知っているが、審議会の在り方、どのように審議会の内容を地域、PTAにフィードバックしていくかが重要ではないかと思う。審議会委員の個人意見となってしまうと厳しい。メンバー構成も含めて検討していただきたい。	審議会の議事録等はすべてHPに公開している。参考として欲しい。 意見の吸い上げ、反映は重要と考えている。今後検討したい。
11	一中	C	審議会の内容は市HPにあるとのことだが、各小中学校のポータルサイトに載せることはできないのか。	検討したい。

No.	中学校区	発言者	質問・意見	回答
12	一中	H	個人的な意見であるが、資料1のP7「基本的な考え方」はこれまでの審議会を経て出されているのか。審議会議事録だけでなく、関係資料等はHPで公開されているのか。 意見であるが、子どもたちへのアンケートは是非やっていただきたいと考えている。取り入れるかどうかは別として、子どもたちも主体性というか、しっかり考えることとして大事なことだと思う。また、アンケートをすることによって、率直には言えない学校内の課題や悩み、また問題の解決につながるのではないかと思う。 小規模特認校について、学校数が増えても、保護者が学校を選択できることは良いことではないかと思った。良い意味での学校同士の競争ができると思う。 統廃合にあたって、根本的な対策が必要と思った。例えば除雪については、山間部の人の少ないところまでコストをかけている。学校がたくさんあることによって税金が使われる。コンパクトシティではないが、政策的に子育て支援や新築に対する補助などの対策をやっていく必要があると思うが、今後検討して欲しい。	審議会を経て提出しており、会議資料はすべて公開している。 ご意見として承る。
13	一中	C	慶徳町では御田植祭があり、年々人数が少なくなっている。慶徳町でも豊岡地区がメインでやっている。国の無形文化財であるが他地区では関りが無い。これを機に交流ができないものかと思った。	様々な工夫を視野に入れながら、文化財の継承も重要視しながら進めてまいりたい。
14	一中	I	いつ統合するのか気になる。保護者目線でも教材やジャージとかの用意もある。統合の時期については、ある程度の大きなマイルストーンとして示す必要があるのではと思った。例えば令和8年までには決めるとか。そういくことを示していただきたいと思った。	ご意見として承る。
15	一中	B	次の話し合いとなった場合、どのような段階となるのか。例えばPTAで吸い上げてきてくださいとか、地区の考えはどうやってまとめていくのかなど。また保護者は4km、60分といったものではなく、具体的な案がないと判断できないのではないかと思う。	即答できないが、市として提案できるよう準備していきたい。
16	一中	C	人口の推移から、いつまでに、どのくらいの人数になったら統廃合をしていかなければならないとかの基準はあるのか。	実施計画(案)の期間として10年を目安として提案している。今後の話し合いで決めていきたい。人数についても皆様に現状をわかっていただきながら進めてまいりたい。

No.	中学校区	発言者	質問・意見	回答
17	二中	J	△×の標記は、意見の誘導ととらえられる危険がある。何らかの意図があるのか。意図がないのであれば、○△×の表記はやめた方がいい。 一小的分散進学の解消により三中进行する場合については、子供の気持ちに配慮し、慎重に進めていってほしい。	特に意図はない。 過去に統合する学校同士で、学校1年間かけて、交流授業を実施した等の事例があった。これらの事例を元に、子供たちに十分配慮しながら進めていきたい。
18	二中	K	適正規模の基準である1学年複数学級について賛成である。クラス替えができ、様々な子供たちと交流し、切磋琢磨していくことが大切であると思う。 この点を踏まえ、喜多方市としてどのような子供を育てていくのか、どのような力を育てていくのかの考え方をもっと前面に出した方がよい。その上で、具体的な学校像を明確にしていける必要がある。 対等統合の考え方は、賛成である。学校名、校歌、PTA組織等も変更するということになるが、大小に関わらず、平等に統合するという考え方は基本になる。 次に、統合時期についてであるが、いつまで実施するのか。高郷小、山都小、三小は既に統合しているが、他校も含め、これから新たな学校のネットワークを作っていくのだと思う。 今後、10年～15年の問題ではないと思う。15年過ぎたらまた統合の話が出てくるようでは困る。それ以降のことも含め考えていける必要がある。そのような点から、三中、豊川小、松山小は、どのようにしたらよいのか等、いろいろなことを考えていける必要がある。 将来のことを考えて、思い切った案を作成し進めていってほしい。	より大きな人間関係の中で、「生きる力」を育んでいくということが大切である。そのため、ある程度の人数で、主体的対話的で深い学びを行なっていくことが必要である。最も重視していることは、子どもの学びのためということである。 クラス替えができる学級ということについて、我々も理想と考えているが、地域的な事情もあり、実施計画（案）のなかには必ずしも基準に達していないところもある。 実施計画の期間は10年間となっているが、全てがその間に終了するものではない。その後も継続して考えていく必要がある。全ての統合案と一緒に実施できないので、優先順位を考えて進めていきたい。 喜多方の子どもをどのように育てていくかという質問があった。現在のグローバル社会の中で他者との関りが非常に大切になっている。また、AIの発達により、今ある職業の60%がなくなるだろうと言われている。そのような中で、様々な情報から必要なものを選び出し、それを基に分析、判断し、自分の考えを発信していくことが重要になってくる。 協働という言葉があるが、新たな社会を創り出していくために、お互いが知恵を出し、協力し合いながらよりよいものを創り上げていく力を小さいうちから身に付けていかなければならないと考えている。 そのために、ある程度の人数の中で、切磋琢磨し、意見を聴きあい、討論したりするなど、様々な経験をとおして、相手の気持ちも理解できるような子どもを育てていかなければならないと思っている。 そのためにも、子どもにとって最大の教育環境である教師のマンパワーを十分に配置できるよう整えていかなければならないと思い、この適正規模適正配置を実施しているところである。
19	二中	L	今後、魅力ある「喜多方」ということを作っていかねばならないと思う。子どもは、何がよいのか選ぶことができないと思う。 理想的な子どもたちだけではないが、個性豊かな子供たちが育成させるような環境を作ってもらいたいと思う。 そのためにも、教育委員会でしっかりした案を作っていただきたい。	示唆的な意見をいただいた。ある一定の規模にすれば、優秀な子供たちが多く育つということではない。 子供たちは多くの体験、経験をとおして成長する。その意味で、偏差値的な学力だけでなく、人間としての「生きる力」が育成されるのではないかと考えている。

No.	中学校区	発言者	質問・意見	回答
20	二中	M	適正規模適正配置の会議を今年度34回実施していることに敬意を表する。 最初に「統合の是非」と「統合の具体的な案（どの学校が統合するのか、実施時期はどうか）」についてである。2点の議論が混在していると思う。「統合の是非」は、ある程度仕方がないという考えが多くみられる。「統合の具体的な案」については意見が分かれていると思う。この2点を整理し、議論していくことが重要である。 次に「分散進学」の解消についてだが、このことは、これまで、何度か議題になったが、立ち消えになってきた経緯がある。子供たちの立場、当時の意見（保護者、地域等）、これまでの歴史、経緯を整理して結論を出してほしい。 併せて、喜多方地区の中学校は、現在3校であるが、10年～15年先について、生徒数は大丈夫なのだろうかという疑問を持っている。 中学校は部活の関係も含め、生徒数は重要な要素と思う。その点も考慮し、しっかりと検討してほしい。	「統合の是非」「統合の具体的な案」が混在しているという意見はその通りである。 反対意見の中には、適正規模適正配置そのものに反対ということで、具体的な統合についての話し合いになるまでにはなかったという状況もある。 統合の時期は、話し合いによって決めるということであり、具体的案に踏み込めなかった理由とも考える。 来年度は、もう少し具体的に提示できるようにしていきたい。保護者へのアンケートについても考えている。 「分散進学」の解消については、関係者から意見を聞きながら判断していきたい。分散進学を解消した場合、三中の生徒数は、令和16年度に70人台になる。 三中学区の保護者からは、部活の関係で統合してほしいという意見や生徒数に懸念を持っているという考えが出ている。 現在の実施計画（案）では三中存続ということで、意見を聞いてきたが、「分散進学」の解消と三中の生徒数の減少は連動していくので、その点を踏まえ考えていきたい。 喜多方市の教育の考え方をもっと前面に出せるような表現を工夫していきたい。
21	二中	M	3つ目は、喜多方の子ども達にどのような力をつけるかという問題である。教育長から話があった内容を、より強く、前面に出したアピールをした方がよいのではないかと考える。 コロナ禍で不登校の児童生徒が多くなったという報告がある。登校して、多くの様々な子供たちと交流していくことで、トラブルも含め、様々な経験を重ねていくことが最も大切である。 教育界では、レジリエンスという言葉がある。うたれ強さ、困難な状況でも柔軟に思考し、適応していく力を意味する。 リモートやAIは知識としての学力をつけることはできるかも知れないが、子ども同士の多様な交流、触れ合いがないと、レジリエンスや人間的な力を付けていくことは難しい。 今後、子供たちに必要な力をつけていかないと、未来は厳しい状況になると思う。そのようなことも、地域、保護者に教育委員会として、積極的に発信したらよいと思う。	先日ある大学の学長の話を書く機会があった。 1,000近くある国公立私立の中で40%が推薦で入学し、約60%が一般入試の入学生であるということである。今後は知識理解の量を比較する時代でないということである。人間としての力が試される時代になってきている。人間としての力が強い人ほど「生きる力」があるとも言える。
22	二中	N	上三宮小学校の小規模特認校についてであるが、導入から今まで場当たりの対応とも感じられる。今後、評価について、明確にしていける必要があると思う。 34回の説明会のWEB上の記録を見ると、同じ傾向の意見も多いと思う。喜多方の特性にあった、より具体的な案を作ってもらいたい。	上三宮小学校は年度ごとに評価を実施していく。今年度は制度を使っでの入学生が4名であった。令和5年度についても同じくらいの転入学生がいる予定である。在籍している子供のことを考えると、急に制度をやめることもできないので、評価を積み重ねていきたい。 喜多方市の教育についてはより質が高くなるよう努力していきたい。

No.	中学校区	発言者	質問・意見	回答
23	二中	K	繰り返しになるが、もう少し具体的な内容、例えば、喜多方市は人間関係の構成する力を育成する等、皆さんに共有できるようにしていただくとありがたい。 もう一点は、優先度、緊急度についてである。 出来るところから、優先度の高い順から実施していくということであったが、入田付小と三小の統合の際に、数年後また他校と統合することになるのではないかという声もあった。 そのような思いを繰り返さないために、喜多方市全域をどうするかという視点で、小中学校及び上三宮小学校も含め、何十年先までを見据えて、大ナタを振るって取り組んでほしい。	今後、検討していく。
24	二中	O	提示された資料だけでなく、統合することのメリット、わくわく感がもてるような点を出していただけると統廃合もスムーズになると思う。 もう一点は、対等な統合ではあるが、受け入れる方の学校にもその準備を今から進めていくもの必要だと思う。 単に、受け入れるのではなく、部活も含め、子供たちがわくわくできるような環境を整えていければと思う。	単に人数だけでなく、メリット等についても表現するよう考えていきたい。 また、受け入れる学校の視点についても検討していきたい。
25	二中	P	私自身も自分の子供だけでなく、喜多方市の子供たちをどのように育てていくか、どのような力をつけていくかを真剣に考えていきたい。 その上で、他の方から話が出されたが、何度も同じように統合を繰り返さずに、大きな視野で思い切った変革をしてもいいと思う。 全国のモデルもあると思うので、それらを参考にに取り組んでいただいてもよいと思う。同時に、受け容れる側の学校の準備もやっていく必要がある。統合に関しては、些細なことも問題になることもあるので、十分な配慮を行っていく必要がある。 最後に、財政面であるが、その裏付けはどのようにになっているのか伺いたい。	今後多方面から検討し、結論を出していきたい。 財政面については、例えば、熱塩加納地区で小学校を統合し、会北中の校舎を利用する場合は、中学校を先行して統合することも考えている。その際には、校舎の改築費が必要になる。 提示している案の理解を得た上で、財政的な面での計画も必要になってくると考えている。今回、示唆に富む意見が多く出された。今後よりよい案を作成していくために、参考にしていきたい。
26	三中	Q	① 実施計画（案）であるならば、統廃合の時期を明確に示して欲しい。あまりにも見えない。市では腹案としてタイムスケジュールがあるはずだが、示して欲しい。 ② 令和8年には第三小学校が、令和10年には関柴小学校において複式学級が発生する見込みであるが、市ではどのように対応するのか。 ③ 関柴小学校は耐用年数が超過しているが、新築、改築等を含め、どのように対応しようとしているのか。 市のビジョンが全体的にあいまいなので、要望したくてもできない状況である。	① 実施時期については、資料1 P10に記載しており、実施計画期間の10年間を前期・後期として分け、さらに次期（計画期間以降）として進めたいと考えている。あくまで案であり、今後地域等との話し合いを重ねながら進めてまいりたい。 ② 児童生徒数の見込みは資料のとおり。それを踏まえ適正規模適正配置の案として示させていただいたところ。このまま行くのか、統合するのか、それ以外の方法はあるのか、どのような進め方が良いのかなど、保護者、地域の皆さんとの話し合いを深めながら検討していきたい。 ③ 市では、必ずしも「新しい校舎にまとめる」という考えは持っていない。児童生徒の通学のしやすさ、保護者の送迎などを考慮し、提案しているところ。関柴小学校の新築、改築等も含めた検討しなければならないが、基本的に既存校舎の活用をベースに検討を進めていきたいと思っている。

No.	中学校区	発言者	質問・意見	回答
27	三中	Q	市では、現時点で具体的なスケジュールは持っていないということか。 中高一貫校や義務教育学校については、ある地域では検討しているようだが、第三中学校区についてはそのような考えはあるのか。私は選択肢の一つとして考えなければならないと感じている。市では、どのような問題、理由があって考えていないのか教えて欲しい。	保護者や地域等との話し合いを重ねたうえで、今後具体的なスケジュールを示していきたい。 中高一貫校や義務教育学校については、山都・高郷地区において検討しているところである。その理由としては、仮に統合したとしても理想の児童生徒数にならないことなど、教育の質を高めることが難しい地域に小中一貫校を進めたいと考えている。また、複数の小中一貫校等を進めるには、建物、場所、教員数（小・中教員免許取得）等の課題もある。あくまで案であり、皆様のご意見を伺いながら進めて参りたい。
28	三中	R	先日の第二中学区でも参加した。仮に、第一小学校から第三中学校に通学しない場合は、第三中学校の生徒数はどのくらい減少するのか。	R16年度の第三中学校の生徒数推計（資料1P5）は約100名だが、概ね2～3割は減少するものと思われる。
29	三中	S	第三中学校校舎は、築50年以上経過しており老朽化が激しい。特にトイレが古く、震災等が発生した場合、生徒の安全性に大変危惧している。使用や掃除にあたっては生徒も苦勞し、先生方も耐えながら指導してくださっている。 今後10年間第三中学校を維持するのであれば、生徒が安全に学校生活を送れるよう、建物の見直しを考えて欲しい。 市、教育委員会に声をかけても予算の問題で対応できないという。税金を子どもの教育にも充てて欲しい。	第三中学校の施設状況は把握している。大変申し訳ないと感じている。他地域の校舎も古い施設が多く、課題であると感じている。しっかりと声を聴いていきたい。
30	三中	Q	統廃合によって学区が広くなることを懸念している。第三小学校、熊倉小学校、関柴小学校の三校が統合すれば、学区は広くなる。資料1P9に記載している「地域と学校との関りへの配慮」が希薄化されるのではないか。 ① 学校運営協議会の設置は、学校と地域が連携して子どもたちを支えていくという目的ではじまったが、統廃合で希薄になるのではないか。 ② 学区が広がることで、子どもたち、教員の負担も大きくなる。スクールバスが何回か往復する場合、最初の子どもたちを乗せたバスの発車時刻、それを迎え入れる教師の対応等が心配される ③ 地域との共同学習に関して、学区が広がれば現場は困惑すると思われる。市はどのように考えているのか。	① コミュニティの希薄について、地域の方にとっては朝の子どもたちの元気な姿が見れなくなることも考えられる。適正規模適正配置の大きな方針として、子どもたちへのより良い教育、多様な学びを小さい時期から受けさせたいと考えているものである。 ② 学校運営協議会は2年目に入り、学校を支えていただいていることに感謝している。今後も学校と地域がどのようなかわりを持つことができるのか、地域合同の催し、子どもたちが出向いたりすることで学びが広がり、地域とっても良い影響がでる可能性もある。希薄化を避け、地域の方のご協力を頂きながら取組を進めてまいりたい。 ③ 子どもたちの通学時間は文科省の基準を参考に、1時間以内としたいと考えている。児童生徒に負担の少ないスクールバスの運行をしっかりと考えていきたい。

No.	中学校区	発言者	質問・意見	回答
31	三中	T	個人的な意見であるが、仮に小中一貫校や義務教育学校となった場合、第三中学校では特色を打ち出した学校運営ができるものと考えられる。例えば小学校低学年からの英語授業など、英検等の資格取得を目標としたり、ICTを活用した教育などが考えられる。 また敷地の西側に比較的広い土地があり、新しい校舎を整備することも可能ではないかと考えている。第三中学校は維持していただき、会津地域だけでなく、県内にも誇れる学校として目指すことも考えられる。	ご意見として承る。
32	三中	U	過去に適正規模適正配置の審議会をつとめたことがある。いろいろな学校のパターンがあつてよいと思う。 市では案を複数だして意見交換をしたほうが良いと思う。現時点では何に対して意見して良いのかわからなく、意見交換の意味がない。これまでもある程度の意見は聞いているのだから、柔軟な複数案をもっと出して欲しい。また、意見をきちんと吸い上げているのか疑問。もう少し形ある意見交換を希望する。	今後、具体的な案を提示していきたい。
33	三中	V	【事務局より、第三中学校保護者に対して学校の存続（あり方）について意見を伺った。】 個人的には統合は考えられない。前回の保護者説明会では「部活の問題」に関する意見も出たようだが、今では複数の学校が一緒になって部活を行う話も出ているようである。	
34	三中	S	小学校は上三宮小学校のように小規模特認校の導入もありえるのではないか、と思っていたが、小中一貫校であれば人数も多くなり、教育の差も少なくなるのではと思う。また、いじめ問題も少なくなるのではないかと考えた。小学校と中学校が一緒なら子どもたちの部活の選択にも有利だと思う。	
35	三中	U	審議会委員であった時に小中一貫校を見学したことがある。地域とかなり長い期間話し合いをしながら実現したと聞いた。また、中学校の専門の先生が小学生を教えてくれるなどメリットもあるが、デメリットもあるようだ。 統廃合を進めるのであれば大きな考えをもって進めて欲しい。何度も統廃合を繰り返すのであれば子どもも親も迷ってしまう。 私も子どもが中学校を卒業すれば地域の意見となる。保護者とすれば子どもたちが楽しく学べる、可能性のある学校を目指して欲しい。	

No.	中学校区	発言者	質問・意見	回答
36	三中	U	子どもたちのことを一番に考えて判断して欲しい。	今後も保護者の皆様の声を伺いながら、検討してまいりたい。
37	会北中	W	この意見交換会に出席するにあたり、自分の周りの意見を拾ってきたので紹介する。 ・上三宮小だけ、なぜ小規模特認校なのか ・数字を見て驚いた。2つの小学校の統合は止むを得ないのではないか。 ・会北中の生徒の減少要因を考えなければならなかったのではないか。 ・地域性が異なる統合で郷土愛をどう育むか。 ・子どもたちのことを第一に進めるのであれば統合も止むを得ない。 ・どうせならば会津坂下町のようにしてはどうか。 ・合併前の市町村を越える統合はしない方針ではなかったか。 ・熱塩加納方式給食は残して欲しい。など。	上三宮小については、2年間入学生がいないなど実施計画（案）策定前に緊急に対応したものである。子どもの奪い合いになるため、他の学校での同制度の導入は考えていない。学校規模が小さいと、例えば小学校2学級なら教員の配置は2名である。事務の先生も配置されず、教頭がその役を担うことになり、教育環境が整えられない。今年度、本制度により4名の児童が上三宮小に転入している。 急速に少子化が進んでいる。人と人の関わりを重視し、育成していくためにはある程度の規模が必要で、旧市町村をまたいだ統合はやむを得ないとの考えである。当初、統合は旧市町村を跨がないわけであったが、急速に子どもが減少している。令和14年度には高郷中は複式学級となる。中学校が2学級なら教員配置は4名である。中学校9教科を4名の教員で教えることになり、一人3教科持たなくてはならない。養護教諭、事務も配置されない場合がある。 コミュニティスクールについては、学校が活性化すれば地域が活性化するというのが本来の意義であり、そうあればいいと思っている。
38	会北中	X	①会北地区で小中一貫校がベターではないか。 ②第二中と部活動などの連携はどうか。 ③会北中を統合小学校でどうか。	①会北地区だけの小中一貫校は人数が少なく難しい。 ②部活動のため第二中に転校する実態があることを考慮し統合案を作成した。 ③会北中を統合小学校とする方向性が決まれば、施設自体が小学生に合うかどうかを含め、対応していくことになる。
39	会北中	Y	①部活動でみれば、市内の中学校では単独で野球のチームを編成できなくなっている。複数校で合同チームをつくるなら小中一貫校でも良いのではないかと思う。小中一貫校であれば、教科担任制で教えてもらえるので学力が向上すると思う。 ②熱塩地域から学校がなくなることは大変辛いことであるが、小学校の統合はやむを得ないと考えている。学校に協力してくれる地域の人材が不足しており、両校でひっぱり合っている現状があるので、熱塩加納地区で一つの学校というのは賛成である。 ③統合場所については、議論が必要だと思う。バスで長時間の通学は止めて欲しいと思う。	①小中一貫校なら一つの敷地にある併設型が望ましい。会北中は現在3学級で教員は6名配置で、教員が少ないと一貫校は難しい。マンパワーが少ないところでは教育環境を充実させることは難しいため、小さい学校同士の一貫校は難しさがある。
40	会北中	X	複式補充教員の配置など、教員の配置を市が自腹を切って措置することは可能か。	複式学級の人数が15、16人の場合と変則複式の場合、県の予算で非常勤職員1名のみ配置できる。複式学級が3つあっても1名となる。市のお金でということだが、継続的に配置はかなり難しい。

No.	中学校区	発言者	質問・意見	回答
41	会北中	Z	①統合のスケジュールが決まっていないので悩んでいる保護者もいる。統合が決まった場合の期間はどれくらいかかるか。 ②子どもの減少要因である社会の活性化、企業誘致等は考えているか。	①実施計画（案）では着手時期は明示しておらず、地域の意向を伺いながら決定していくとしているが、熱塩加納地区については最も統合を望まれている親御さんが多いと感じている。二中への統合については、現在の二中の校舎をそのまま使用できるため、2年程度で統合できるのではないかと考えている。校名、校歌などについて準備委員会を立ち上げ進めていくものと考えている。小学校については、どこの校舎を使うかによって変わってくる、会北中を使用するとすると改修期間を考慮する必要がある。 ②人口減少については、総合戦略として全庁的に取組んでいるところである。
42	会北中	AA	①熱塩加納地区は全体的に統合に前向きということを聞いて非常に安心した。小中とも統合案に賛成である。地域の方々からも仕方ないとの声があったと耳にした。非常に風向きがいい方向に来了と思っている。こういう問題はみんながハッピーになることは難しいので、先延ばしにならないように、一旦統合すると言い切ってしまうことが必要である。 ②会北中を新たな小学校にすると、両方の小学校がなくなって新たな小学校ができることになり、熱塩と加納の両方から理解が得られやすいのではないかと。	①統合がどうなるかといった不安の期間ができるだけなくなるように、早く方向性を示したい。 ②会北中の利用についての心情的な部分は参考になった。なお、小学校としての利用については、階段、プール、遊具設置など予算の検討が必要である。
43	会北中	AB	統合の時期を明確にして欲しい。子どもたちが不安になっている。	できるだけ早く具体策を示していきたい。
44	会北中	AC	小規模校にも大規模校にも良いところがある。大規模だとPTAの役割も分担しやすいと思う。第二中に行けば、いろいろな部活動があってよいと思う。	ご指摘のように小規模校も大規模校もよいところがある。人との関わりをつくるようにしたいと考える。
45	会北中	X	大胆に市内を中学校は第一中、第二中、塩川中の3校でという構想はないのか。	そのような意見はある。そうすると旧喜多方地区と塩川地区だけになってしまうため、通学時間に課題がある。
46	会北中	AD	小学校の統合は仕方ない。中学校は統合に反対の意見を持っていたが、教員の配置の説明を聞いて二中にいくしかないのかなと感じた。大きい学校はICTの環境（人数が多くつながらない）が良くないと聞いたので、その点では小規模の方がいいと思っている。 小学校の保護者の方が中学校の選択を迷っていると聞いた。更に中学校の人数が減ってしまって、学校が成り立たなくなるのではないかと懸念している。保護者の希望を考慮して欲しい。	できるだけ方針を早く示していきたい。ICTの環境については担当に申し伝えたい。
47	会北中	AB	学区外通学については、住所を異動しなければならないのか。また、統合が決まったら、統合前に二中に通うことができるか。	住所異動が必要となり、現段階で第二中に転校できる制度は住所異動のみである。統合前に二中に通学したいという件については、今後検討したい。

No.	中学校区	発言者	質問・意見	回答
48	会北中	AE	第二中学区の保護者や地域に話し合いの内容は共有されているのか。	共有されているが、当事者意識が低いのも事実であり、意識を高めるよう働きかけていく必要がある。対等な統合であり、統合が決まれば、学校名や校歌なども含めて準備委員会を立ち上げ話し合いをしていくことになる。
49	会北中	AD	統合中学校に通う場合、行き帰りのスクールバスはどのように考えているか	小学校、中学校ともに児童生徒の実態に合わせていきたい。
50	塩川中	AF	仮に統合するとした場合、どのくらいの準備期間が必要なのか。	様々なパターンが考えられるが、仮に4校を一つにまとめるとした場合、校舎の建設や用地の取得などに長期間を要すると思われる。また、仮に4校をまとめて校舎を建設しない場合、3校をまとめて校舎を建設しない場合などは比較的短い期間での統合も考えられる。 現時点では具体的に時期は示せないが、保護者、地域との話し合いで方向性が見出していければと思う。
51	塩川中	AG	① 実施計画の期間が「令和14年度まで」とあるが、今後10年間意見を聞きながら計画を進めるということか。 ② 審議会について、構成メンバーはどうなっているのか。また、審議会で協議された事項について地域にフィードバックされているのか。意思決定の過程が見えない。 ③ 資料1で令和42年度の児童数が載っているが、この算出方法について聞きたい。	① 適正規模適正配置の実施時期については、資料P10に記載のとおり、10年間を「前期、後期」また、それ以降を「次期」に分けて実施するものである。保護者等の意見を伺いながら各地域の実施時期を検討していきたい。市で一方向的に時期を示すのは好ましくないと考えている。 ② 審議会メンバー25名であり、学校関係者、保護者、地域の代表者等、また、学識経験者として、会津大学の教授に会長を務めていただいている。これまで14回審議会を開催しており、議事内容、資料等は全て公開している。 ③ 令和42年度児童数は、喜多方市長期人口ビジョンの人口減少率を乗じた、簡易的な手法により算出したものである。参考として考えてもらいたい。
52	塩川中	AG	人口減少の進行が統計上わかっているのであれば、人口を増加させる政策が必要ではないか。	市総合戦略により人口減少対策に取り組んでいるところであり、子育て政策等各種政策にしっかりと取り組んでいきたい。
53	塩川中	AH	今後の児童数の推移は、現在の住民基本台帳からの数値であるとのことだが、将来の転入・転出は見込んでいないのか。団地の建設や子育て環境をもっと整えれば人口が増えるのではないか。	人口を増加させるには、短・中期的な取組だけでなく、雇用の創出など長期的な政策が必要であるとする。児童数の推計については、期待感により計上することは厳しいと考える。なお、特別支援学級の児童生徒数も見込むことが難しいため記載していない。

No.	中学校区	発言者	質問・意見	回答
54	塩川中	AI	市の教育ビジョンはもちろんのこと、「保護者は子どもに対してどのような教育を望むのか」「地域ではどのようなコミュニティを望むのか」に関して意見を聞いていると思うが、資料2の「塩川地区保護者意見抜粋」では、保護者意見として「4小学校統合では大きすぎる」「2校統合がよい」「塩川小学校を分散させる学区の変更を考えているのか」との意見があり、地域意見では「塩川小学校を他の3校に分散させることはできないか」との意見があるが、これらについてどのように考えているのか。	4校統合について、また、3校の統合などについて、保護者や地域から理解されるのか皆さんから具体的な意見を伺いたいところである。 なお、塩川小学校の学区を分散させるのは難しいものと考えている。
55	塩川中	AJ	統合後の具体的な児童数や通学手段はまだ決まっていないのか。	今後、保護者の考えを伺いながら検討していきたい。
56	塩川中	AK	大きな学校が子どもたちにとって良い環境かどうか疑問である。児童数が多いと子どもたちに先生の目が行き届かないのではないか。また大きな学校は保護者間、保護者と先生の間でもトラブルが多いと聞く。小さな小学校でも充実した学校生活はできると思う。 児童数の減少は避けられないが、仮に統合したとしてもそれを維持できるかどうか。個人的には4校統合ではなく、2、3校統合の方が子どもたちにとって良い環境ではないかと感じる。	大きな学校だから「子どもたちに先生の目が行き届かない」「トラブルが多い」とは限らない。大きな学校にはそれだけの教員数が配置され、マンパワーによる指導もある。例えば、チーム・ティーチングという方法で2人の先生、あるいは3人の先生が指導を行うこともある。このような指導もあり、子どもたちに目が行き届か居ないとは言い切れない。また、トラブルは子どもにつきものである。将来、子どもたちが生きていくための解決能力や対人能力が身につっていければと思う。
57	塩川中	AL	4校統合で新しい校舎を整備していただくことを希望する。今の校舎ではICT環境が良いとは言えない。ICT環境の整った校舎を希望する。仮に3校で統合する場合はどのような統合になるのか。	3校統合の場合は、塩川小学校を除く統合を想定している。学校の場所は決まっていないが、堂島小学校が比較的ハード面が新しいため、選択肢の一つではないかと考えている。今後も皆さまの話し合いによって検討していきたい。
58	塩川中	AM	統廃合に関して、いつ、どのようになるのか、まったくわからない。この意見交換会の意味はあるのか。ただのフリートークではないかと感じる。今後、どのようなスケジュールで、いつまでに何を、どのように決めるのか示していただきたい。	具体的な内容を示せなくて申し訳ないと思う。4校なのか、3校なのかなど学校統合の形態、校舎の整備、4校統合の場合は場所など、皆様の声を聴きながら、比較、検討を行いながら進める必要がある。また塩川地区以外の状況や優先順位等を勘案しながら総合的に進める必要がある。次年度にはある程度具体的な案をお示しできると思う。 塩川地区においては、現時点の市の原案は4校統合であり、課題は校舎の整備等として捉えている。いろいろな案はあるが、その中の一つとして小中一貫校・義務教育学校も塩川では考えられると思っている。（小中一貫校や義務教育学校について資料1 P18により説明。）スケジュールが見えないとのことであるが、市が一方向的に示すのではなく、皆様の意見を聞きながら、次は具体的な方向性を示していきたい。

No.	中学校区	発言者	質問・意見	回答
59	塩川中	AN	① 実施計画案の「案」が取れる時期はいつか。案がとれたら具体的な内容になるのか。 ② 統合の場合はどのくらいの期間で統合するのか。	① 今後の話し合いによっては、具体的に示せる地区と、そうでない地区が出てくると考える。 令和5年度中には骨子を示したい。 ② 統合の形態によって変わるが、最短でも最低2年はかかると考える。
60	塩川中	AO	校舎を建設しない場合は約2～3年とのことだが、小中一貫校は案としてないのか。小中一貫校の場合は、いまの塩川中学校は狭くて建て替えが必要だと思うが、校舎を整備した場合は何年かかるのか。	想定であるが、小中一貫校の場合、用地取得及び設計等で数年かかり、校舎の建設で約2～3年程度必要と考える。また財政的な調整も必要であり、比較的期間を要すると思う。
61	塩川中	AG	いくつかのパターンを示す必要があると考える。現時点の計画は漠然としており考えがまとまらない。	ご意見として承る。
62	塩川中	AP	4校を一つにする場合、3校を一つにする場合、それぞれのメリットとデメリットを出してもらおうとありがたい。	通学時間やスクールバスの運用など、整理して検討していきたい。
63	塩川中	AQ	小中一貫校に賛成である。現中学校の体育館も狭い。統合はメリットあると考える。今後の統廃合の話し合いには、未就学児の保護者の考えを反映すべきだと考えるが、そのような方の意見聴取はどのように考えているのか。	本日の意見交換会にもこども園等の保護者に参加いただいている。公立・私立の保育施設に文書を配布して参加を促している。今後も保護者の意見をいただきながら進めてまいりたい。
64	塩川中	AR	① 昨年の本市の出生数は把握しているのか。 ② 個人的には賛成である。学校の統廃合は、地域を残すため、人を呼び込むためのツールとして必要である。塩川小学校と中学校に通う子どもに聞いてみたが、どちらも多くの仲間と触れ合いたいとのことであった。塩川町を残すために、出生数の増加や定住人口を増やすことを考えないといけない。	① 令和3年度の出生数は約270人である。令和4年度見込みは209人 ② 意見として承る。
65	塩川中	AS	① 学校統廃合に係る対地域の先進的な取組を調査しているのか。 ② 資料を見ると統合した方が良いという感じがする。しかし、力強く推進していくというビジョンが市には感じられない。ディスカッションをしても伸び伸びにならず、話が逃げないようにして欲しい。次回の会合には具体的な案をもって協議して欲しい。	① 全国的な事例、近隣自治体（西会津町、会津坂下町）の事例等調査している。 ② 意見として承る。 今回はビジョンを示せず申し訳ない。市が一方向的に統廃合の形をつくることはできないことではない。ただ、皆様に押し付けたくないという考えから、極力地域の方の意見を聞きながら慎重に進めているところである。時間はかかるかもしれないが、今後は具体的な案を示してまいりたい。

No.	中学校区	発言者	質問・意見	回答
66	塩川中	AT	新たな学校の場所として、工場跡地がよいと考える。	ハザードマップなど、様々な要因等を含めて検討していきたい。
67	塩川中	AU	小規模校ならではのメリットもありますが、人数が少ない分グループ活動や運動会などに制限があると思います。いろいろな友達の意見を聞いたり、競争心を養うこと、子どもたちの選択肢を増やしてあげることも必要なのではないか。 規模が大きくなるといじめの問題がとの意見もありますが、たくさんの人と出会うことにより気の合う友達も見つけやすいのでは。 複式学級については、他学年で交流を持つことは素晴らしいが、授業での1学年の差は大きいと思う。個々の学年で深く学ぶことが大事ではないか。 塩川地区は、塩川小学校を除く3校での統合がいいと思う。 何年も前から統合の話はでているが、これからますます少子化になり、小学校の老朽化も進んでいくと思うので、早急に話し合いを進めてほしい。 [欠席のため文書による意見提出]	
68	山都中	AV	統廃合は、保護者・子ども・地域の三者が同じ方向を向かないとうまく進まないと思っている。 中学生の子どもに聞いたが、部活の選択など、人数が多い方が良いと言っている。小学生の子どもは、やはり友達が多い方が良いとのことだった。子どもたちの意見も取り入れた方が良いのではと思う。 保護者の意見は「少ない方が良い」、「多い方が良い」と分かれると思う。 地域の意見は「学校は地域にあった方が良い」と思うのは当たり前である。もし山都地区と高郷地区が統合した場合、残る方は仕方がないと思うが、学校がなくなる地区は反対となる。 いずれにせよ、山都地区・高郷地区の場合、学校をどこに設置するのかわからない限り、自分達の立場を示すのは難しい。いつ頃学校の場所を決定するのか。	学校をどこに設置するのか、通学時間や通学距離、通学方法など検討し、地域のご意見を伺いながら決定したいと思っている。提案できる段階になったらお示ししたい。

No.	中学校区	発言者	質問・意見	回答
69	山都中	AW	① 資料1のP16に令和10年度の生徒数が掲載されている。統合時期は令和10年度を想定しているのか。 ② 高郷地区では統廃合に関する署名活動を行っていると聞いた。山都地区の住民は山都地区内に学校が建つものと考えており、あまり関心を持っていないのかもしれない。 学校の設置について、「いつ、どこに、何をつくる」ということを具体的に提案いただければ、こちらも判断ができると思う。 ③ 過去に小学校が統合した際、当時の校長先生から子どもたちの顔色が変わったと聞いた。統合する際は、子どもの心のケア、交流会等をお願いしたい。 ④ 小中一貫校となった場合、特別支援学級は設置してもらえるのか。	① 令和10年度を統合の目安としているものではない。 ② 今後もご意見等をいただきながら、検討してまいりたい。 ③ 子どもたちの心のケアは重要である。統合の前だけでなく、統合してからのケアも継続していきたい。 ④ 特別支援学級の配置は、人数が確保できれば小中一貫校においても設置が可能である。
70	山都中	AX	資料2のP6（山都地区）、P7（高郷地区）の「保護者意見抜粋」の▲意見について、市ではどのように回答したのか。	山都地区の一つ目の▲については、学校の場所をどこにするのか、保護者や地域のご意見等を伺いながら、文部科学省の基準に合うように進めていきたい。 山都地区の二つ目の▲については、小規模校はきめ細やかな指導ができるというメリットもあるが、デメリットとしては、子どもたちが多くの価値観に触れること、お互いに学習内容を深めること、切磋琢磨しながら学校生活を送ることなどが大人数の学校と比較した場合はデメリットとして考えられる。また、小中一貫校の良いところは先生が小学校と中学校の授業を教えることができ、児童生徒にとってはメリットとなるものとする。 高郷地区の二つ目の▲については、会津学鳳中、ザベリオ中への進学は可能である。 高郷地区の三つ目の▲については、校舎の耐用年数も考慮する材料の一つであるが、改修等の対応も可能である。大切なのは建物ではなく、保護者や地域等の話し合いによって進めたいとするものである。
71	山都中	AY	① 少子化が進行し、少子化対策が最大のテーマとなっている。その中で山都地区に生まれ、育ち、若者が地元に戻ってくる地域づくりをしなければならないと感じている。若者が生きがいを持って住めるまちづくりについて伺いたい。 ② 資料2のP6、P7では統合に対して否定的な意見が多い。多くの住民が不安を抱いているものと思われる。市では今後、どのように応えていくのか。基本的な考え方を聞きたい。	① 少子化の影響は、学校も含め社会全般に大きく影響する。地域の統廃合への否定的な意見も少子化が根本にあるものと思われる。人口減少対策や地域振興などに対して、学校としてできる事、市全体としてやるべき事などをしっかりと検討し、進めてまいりたい。 ② 否定的な意見をどのように解消していくのかについて、保護者、地域への説明会を行いながら丁寧に進めることを一つの方針として進めているところである。このような説明会を重ねながら対応してまいりたい。
72	山都中	AV	① 小中学校の統廃合に関して、今後10年間での優先順位はあるのか。 ② 統廃合の時期に関してある程度の時期は示していただきたい。今は保護者の立場だが、統廃合の時は地域住民の立場になると思う。	① 教育委員会としても適正規模適正配置を一気にできるものとは考えていない。実施順は現在のところないが、話し合い踏まえながら、検討しなければならないものと考えている。 ② 今後も検討してまいりたい。

No.	中学校区	発言者	質問・意見	回答
73	山都中	AZ	新たな学校の設置場所について、市は3案くらい示して、その案に対する意見を聞いてもらった方が現実的である。単に「統合についてどう考えますか」では意見は出ないと考える。	具体的に提示できる段階になったらお示ししてまいりたい。
74	山都中	AY	① 小規模特認校について、小学校のカリキュラムは教育委員会が決めるのか、校長が決めるのか。 ② 小規模特認校のデメリットを教えて欲しい。 ③ 県内の小規模特認校の実施校及び成功事例等はあるのか。	① 校長が決めるものである。 ② （配置される教員数等について説明） ③ 県内で数校実施している。近くであれば令和5年度から会津若松市の大戸小学校がある。小規模特認校は児童が集まりにくく、成功例は見つけにくいのが現状である。
75	山都中	AY	① 実施計画案P7に「複式学級となることが予想される場合は『できる限り速やかに』実施する」となっているが、高郷地区では令和5年度に複式学級が発生する。どのように対応するのか。 ② 複式学級についてはメリット、デメリットの両方あると思っている。「速やかに」という文言は非常に強い言い方であると感じる。	① 高郷地区と話し合いを行っている。今後も継続していく方向である。 ② メリット・デメリットは両方ある。デメリットとしては教員の配置が少なること、養護教諭、事務員が原則配置されないこと、中学校においては教員が少なくなるため専門以外の教科を教えることなど、がある。子どもたちにとっても多くの先生から多面的に見てもらうことがメリットであるとする。「速やかに」という文言は少々強い言い方かもしれない。
76	山都中	AZ	様々な意見が出されているが、多くの方の意に沿うようにやっていただければと思う。市町村合併の際に、意見は申し上げたが、出ただけで納得のいく形で反映されなかったことがあった。 ① この統廃合について、最終決定は誰がするのか。 ② この統廃合について、会津教育事務所は関わるのか。	① 皆様のご意見を得ながら話し合いによって進めてまいりたい。 ② 統廃合に係る意思決定に関しては、会津教育事務所の関わりはない。
77	高郷中	BA	適正規模適正配置の基本的な考え方に賛成である。教育行政に係わる方々が練った案であると理解している。 一部反対はあると思うが、見通しを持てないと、不安が増加していくので、早く案を取り、決定事項として保護者、地域への説明を進めてもらいたい。 石川県穴水町（小学校統合を白紙撤回する請願の議会採択）の例もありましたが、議会等への丁寧な説明もお願いしたい。 10年後にはこの会議の出席者も当事者ではなくなってしまうので、拙速ではなく、可及的速やかに進めていってもらいたい。	多方面の意見を聞いてほしいという意見もあるが、不安な状態をなくしたいと思うので、早めに進めていきたい。 議会の理解を得られるよう丁寧に説明をしていきたい。
78	高郷中	BB	適正規模適正配置について基本的に賛成である。 山都、高郷とも学校を残してほしいという思いも強いと思う。山都と高郷の境付近に、小中一貫教育学校を建ててもらえれば、少しは納得できるようになるのではないかと。統合した場合、約束できることは守ってもらいたいと思う。	校舎の場所については、未定であるが、新たな場所に校舎を建てることは1つの考えである。また、既存の校舎を活用することも選択肢である。

No.	中学校区	発言者	質問・意見	回答
79	高郷中	BC	総論的に賛成である。 各論的にはいろいろな問題もあると思う。通学距離、通学時間等は以前と基準が異なっている。結論から言えば、スクールバスを運行してもらえばいいと思っている。 校舎の場所は、高郷小、山都中が新しい。話を進めていく上では、新しい校舎を建てることも選択肢の一つと思う。 また、統合を行ったとしても、適正規模の基準に達していないとすれば、将来他を見据えてということもあるのかなと思う。 このように、通学、場所についてもよく考慮していただいて決定していただきたいと思う。	通学時間については、以前は40分ということで検討していたが、一定の規模を確保するためには、山都と高郷のような広域的な統合が必要であるということから60分に見直しを行った。これは、文科省の通学時間、通学距離の基準を参考にしている。 新しい校舎を建てるという意見であるが、今後検討をしていく。 スクールバスの運行については、範囲が広範囲になるが、工夫しながら通学時間の短縮を図っていきたい。
80	高郷中	BC	冬の雪の状況等も考慮すると、高郷、山都にそれぞれ小中教育一貫校をつくってもらえればいいと思う。 「中学校は統合し、小学校は残して欲しい」という前回の説明会での意見については、小学校は地域の行事とかの関係で、残してほしいという意見が出されたのだと思う。 また、中学校は統合することによって、生徒数、友達関係、部活動の範囲が広がる、学習面である程度の競争がでてくる等の利点から意見が出されたかと考える。	山都、高郷それぞれに小中一貫教育学校を設置することも考えた。現在、山都、高郷とも3学級で、管理職を除き、通常の授業を受け持つ教員は、6名配置になる。中学校9教科を6名で教える状況で、ある教員は専門外の教科を教える必要が出てくる。令和14年度は高郷中が複式になり、2学級になると、校長、教頭を除き、授業を行う教員が4名配置になる。4名で9教科を教える必要が出てくる。授業の時間も決まっているので、かなり大変な状況になる。 したがって、複式ができる中学校と小学校で小中一貫教育学校をつくるということは難しいと考えている。
81	高郷中	BB	地域の活性化、過疎化を防ぐといったことも考慮して頂ければと思う。ただし、中学校が複式になってまで学校を残すことが必要なかは、考える必要がある。中学校の複式は確実に学力が低下すると私は思うので、検討が必要かなと思います。	ご意見として承る。
82	高郷中	BA	娘は中1であるが、部活はこれしかないからしょうがないということで入部した。 今日の会議のことを子どもに話したところ「友達がたくさん欲しい」と話していた。そういうタイプの子どもにとっては、友達がたくさんいたほうがいいと思う。 他の点から意見を述べさせていただくと、現在、教員数の不足が大きな問題になっている報道がある。その中でも良質な教育の質を担保できるようにお願いしたい。	ご意見として承る。
83	高郷中	BD	自分も統合された小学校の出身で、複式学級も経験しているが、中学校で複式はまずいと思う。地域の意見も聞いたことがあるが、部活も選べない状況もあるので統合も仕方がないと思う。校舎の場所は近いほどいい。	ご意見として承る。

No.	中学校区	発言者	質問・意見	回答
84	高郷中	BB	高郷のこども園は、床暖房で、とてもよい施設であるので、これからも活用していただきたい。 山都と高郷のこども園の園長が兼務で、高郷こども園に不在のことが多い。いろいろと決められないことも多いので、ある程度の権限を副園長に持たせたりするなど、高郷こども園で決められるようにお願いしたい。	担当に申し伝える。
85	高郷中	BA	複式学級になると教員の人数が減るということは明らかに教育の質の低下につながるということだと思う。特に、中学校についてはそれが顕著だと思うので、繰り返しになるが、子どもたちにとって最適な計画を決めて欲しい。	できるだけ、早めに取り組めるようにしていきたい。 高郷中学校は現在3学級であるが、県の教員の配置基準では、養護教員等または学校事務職員のどちらかが配置できないことになる。現在は県にお願いして配置してもらっている状況である。これが2学級になると、基本的には、養護教員、学校事務職員の両方を配置できなくなる。その仕事は、教頭等他の教員が行うようになる。
86	高郷中	BE	署名活動も行われるなど地域では反対の声があると思うが、なるべく早く統合して新しい建物にして欲しい。地域の人々はただ母校をなくさないで欲しいという考えだと思う。地域の人に学校の様子を見て欲しいと思う。部活の選択や競い合いなど、統合が必要だと思う。〔欠席のため電話による意見提出〕	ご意見として承る。